

患者さまへのお知らせ・お願い

- 公開講座のお知らせ

テーマ：『暮らしと健康』

日時： 7月10日(土) 13:15(受付開始)

会場： 昭和大学横浜市北部病院 西棟4階診療放射線専門学校講堂

定員： 100名(各講演ともに)

演題・講師 ①13:30～ 『不整脈といわれたら～特に、心房細動で脳梗塞を発症しないために～』
講師： 総合内科 専任講師 菊嶋 修示

②15:00～ 『家庭での救急処置』
講師： 救急センター 教授 成原健太郎
看護部看護師長 岩山典子
- 【申込方法】 往復はがきにてご応募ください。1枚につき1名1講座です。
■記載事項①希望講義演題②住所③氏名(フリガナ)④年齢⑤性別⑥電話番号
【×切り】 6月30日(水) 必着 ※返信用はがきにご住所・お名前をお忘れなく！
【申込先】〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 昭和大学横浜市北部病院公開講座係
※※ なお、応募多数の場合は抽選とし、返信はがきにて当・落のお知らせをいたします。
- ロビーコンサートのお知らせ

➤ 7月6日(火) 泰 輝 さん (ピアノ演奏会です。)

中央藤1階会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。是非お越しください。
- 訂正

病院だより第20号、患者様からのご意見・ご要望の部分で誤りがございましたので、訂正いたします。
「レントゲン撮影の際の防護服について」の改善部分内、 「錯乱X線、錯乱線」 ⇒ 『**散乱X線、散乱線**』です。
大変失礼いたしました。

患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。

前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させて頂きました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。(※＝進捗報告)

ご意見・ご要望	改善等
各診療科責任者の案内について	『どこの病院も各診療科の医師、師長の顔写真があって、その責任者が分かり安心できるものですが、その一覧がない』とのご意見を頂きました。 すべての病棟・外来部門に、それぞれの部署を担当する診療科長および看護師長(責任者)の氏名・顔写真を掲示しております。正面玄関右側には診療科長の氏名の一覧を掲示しております。また、ホームページでは全診療科の案内(診療科長の顔写真あり)がございますのでご利用ください。
西棟エレベーター前の椅子について ※	病院だより第20号において、西棟エレベーター前に椅子の設置して欲しいとの記事を掲載しましたが、エレベーター横に設置いたしましたので、ご利用ください。
診察券の裏面について	『診察券裏の外来案内で受付時間の表示が各科によって違う旨を記載していない。早急に対応するように。』とのご意見をいただきました。 初期に発行しておりました、診察券には診療受付時間を記載しておりましたが、手術や検査等のスケジュールにより、診療科・曜日毎に時間変更されることがありますので、現行の診察券には診察時間が記載されていません。 最新の診療時間のご案内は各診療科受付横の掲示板やホームページ等でさせていただきます。今後、変更前の診察券の扱いについては検討させていただきます。
院内PHSの安全性について	『館内PHSを先生・係りの方が持っておられますが、大丈夫なのでしょうか？大丈夫なのであれば説明文書が必要と思います。』とのご意見を頂きました。 職員の使用しているPHSは、院内専用のものであり、医療機器等に影響のないことを確認させていただいております。院内、各所に携帯電話使用禁止の掲示をしておりますが、そこに右のようなご案内をあわせて掲示させていただいております。内容は次のとおりになっております。『病院スタッフ使用の院内医療用PHSは医療機器への影響はございません。』『目印は医療用の赤ストラップです。』

医療用 PHS
案内掲示



編集後記

関東地方は入梅した模様です。この時期は小児科では感染症が多くなる季節であります。かつて「感染症は既に克服された」ということが言われた時代がありましたが、それはまったくの錯覚であったことは今や誰の目にも明らかです。小児の健康と生命を脅かすものとして、腸管出血性大腸菌感染症、新型インフルエンザが近年話題になりました。また食品の流通、衛生面が飛躍的に改善しているにも関わらず食中毒は減少していないと言われてます。腸管は消化器官であると同時に重要な免疫器官でもあります。こどもたちのその免疫能力が低下しているのでしょうか。健康な腸管を保つにはいかにすればいいのか、興味深いところであります。

広報委員会 委員 北澤 重孝

北部病院だより 第21号
平成16年6月15日発行
発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)
編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)
発行 昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL : http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

北部病院だより 第21号

第21号【2004/06/15 発行】
発行者：昭和大学横浜市北部病院

- 巻頭言

『6月の花と
皮膚に咲かせてはならない花』
皮膚科 科長 宋 寅傑
- イベント情報

看護の日イベント
医療従事者マナー講演会
- 医師の配属・異動・退職
- 外来担当表
- 人間ドックの紹介
- 臨床研修医の紹介
- 病院からのお知らせ

公開講座(7月10日)のお知らせ
ピアノコンサート日程
- 患者様からのご意見・ご要望



正覚寺、花菖蒲と紫陽花の競演(宋医師撮影)

巻頭言 『6月の花と皮膚に咲かせてはならない花』

6月はジメジメとしたうっとうしい梅雨の季節ですが、このような季節にだけ咲く美しい花もあります。そのひとつはアジサイですが、もうひとつ見逃せない花―それは花菖蒲(ハナショウブ)です。花菖蒲は5月後半から6月頃に花が咲く日本原産のアヤメ科の多年草です。ずっと縦にのびた濃い緑色の葉の上に濃淡様々な花がいくつもいくつもふんわりと舞い踊るように咲き乱れる姿はこの季節しか見られない息を呑むような美しさで、4月に桜が散った後でもう一度心をうきうきとさせてくれる楽しさとさえいえます。花菖蒲は5月の菖蒲湯の菖蒲(サトイモ科)とは種類が異なり、近縁の種類にはアヤメとカキツバタがあります。花菖蒲とアヤメとカキツバタは葉と花の微妙な形や配色の違いで見分けるのですが、その違いは素人の私などにはちょっと判別できません。そしてさらにまた、この花菖蒲の中には粹でにぎわいのある江戸系、江戸系の流れをくむ華やかで力強い肥後系、独自に発達した雅びやかで繊細な伊勢系、色鮮やかな外国種といった系統があり、それぞれの系統にきら星の如く多数の品種があって、各品種毎に洒落た愛らしい名前がついています。紫の鮮やかな榮紫、夜明け前、雲の上、薄紫色の追風、清少納言、薄桃色的美吉野、桃児童、白色系の水玉星、涼夕、星月夜、内外2色の花弁を持つ町娘、千代の春、磯辺などなど・・・どの花もその名に負けない美しさで、毎年6月になると私は菖蒲園に出かけ、花菖蒲の色・形と掲げられた品種名を覚えては満足感に浸っています。しかし、その年にがんばって花の種類をいくつか覚えても翌年になるとほとんどきれいさっぱり忘れてしまい、また一からやり直しという状況が続いています。花の美しさは毎年鮮明に残るのですが、その分類を習得するのはなかなか難しいことです。当院に近い花菖蒲の名所としては地下鉄を隔てた反対側にある正覚寺が有名です。本号巻頭の写真(ページ上)はその正覚寺の満開の花菖蒲です。カラーでご覧いただけないのが残念です。

さて、ここで話を皮膚科のことに転じます。皮膚科外来は眼科と整形外科の間にあり、連日受診される患者様のほとんどが、水虫、湿疹やかぶれ、蕁麻疹などのごくありふれた疾患です。しかしその日常の診療で扱う疾患の中で世間にありふれていながら意外に正しく理解されていない、と感じる疾患もあります。私の花菖蒲・アヤメ・カキツバタに対する理解のようなものでしょうか・・・。そのような疾患のひとつが、手足にできるタコ(胼胝腫)、ウオノメ(鶏眼)、イボ(尋常性疣贅)の3疾患です。3疾患とも皮膚の一部が硬く厚くなるものですが、タコとウオノメは、骨が部分的に突出している部位に外から力が加わったために生じる反応性の角質肥厚であり、タコは硬い角質が平らなままテーブルのように上方に隆起した状態、ウオノメは角質が尖って下方にめり込みちょうどプラスチック片がささったようになってしばしば強い痛みを生ずる状態で手にはほとんどできません。これらに対してイボはヒト乳頭腫ウィルス(HPV)という病原体の皮膚感染によって生ずる病的な角質増殖で皮膚の接触により他部位にも伝染する疾患です。イボには次のような特徴があります。特に圧迫を受けない部位にも(即ちどこにでも)できる、表面がヤスリのようにザラザラしている、剃刀などで少し削ってみると切り口に黒い微小な点々が多数見えたり時にジワッと出血したりする、また一旦きれいに削っても2週間程で元の厚さに戻ってしまう、できて数ヶ月もしないうちに数が2個・4個と同じ病変が周囲に新生する、時に反対側など離れた部位にも新生する等々。これらはタコ、ウオノメとは明らかに異なる特徴ですが世間一般にはその特徴もともかくイボが伝染するという事実すら意外に知られておりません。患者様が手足のタコやウオノメとおっしゃって受診されるケースが実はイボだったという経験はかなりの数に上ります。イボはタコ、ウオノメと違って接触を介し本人の他部位だけでなく場合によっては他人にも伝染する病変なので見つけたら是非とも早期に治療を行うべきで‘皮膚に咲かせてはならない花’ともいえる疾患です。イボの治療としては通常-170～-180℃の低温で病変を凍結させる冷凍凝固療法を行います。ケースによってはかなりの治療回数が必要となります。また、中年以降の患者様の顔面や頭頸部ではこのウィルス性のイボの他、加齢による変化で伝染性のない老人イボ(老人性疣贅)もしばしば生じ、このイボにも冷凍凝固療法が有効です。

皮膚科の疾患に関してはここで述べた以外にも必ずしも正しくない知識が常識とされているものがあります。皮膚に何だかよくわからないできものが生じて迷うことがございましたら是非一度皮膚科にてご相談くださいますようお願いいたします。またそろそろ美しさも終盤にさしかかる花菖蒲の鑑賞にも是非一度足を運ばれるようお勧めいたします。

北部イベント

看護の日イベント

中央棟1階 正面玄関

5月15土曜日に、当院でも恒例となっておりました『看護の日』イベントが中央棟1階正面玄関にて開催されました。看護の日とは、「クリミアの天使」と言われ、近代看護学の普及に力を尽くしたナイチンゲールの誕生日であり、世界各地でナイチンゲール記念日とし、さまざまなイベントが開催されています。

当院でも3回目の開催となり、身長・体重や血圧測定を看護師と一緒にあったり、午後2時過ぎには、普段の独歩が可能な方に、車椅子で外来を動いてみて今までとは違った視点で周囲を見てみるといった体験コーナーを設けました。土曜日の午後でありましたので、普段見慣れない看護師がたくさん集まっておりましたので初めは何事か？と周囲で見ておられた方も参加され、患者さまもお見舞いに来られた方もスタッフとともに時間を過ごすことができました。

来年も5月中旬に開催する予定ですので、皆さまも看護の日のイベントに参加されてみてはどうでしょうか？



医療マナー講演会

西棟4階 診療放射線専門学校講堂

5月31日曜日に、『患者の求める医療』～医師像・看護師像(医療従事者像)～というテーマで、岩崎榮先生(日本医科大学医療管理学元主任教授、財団法人日本医療機能評価機構理事)を講師に招き、当院全職員を対象とした講演会を行いました。

講演会は「患者さま第一、患者さまの安心・安全、患者さまの満足」ということを中心に、患者さまと医療従事者の視点・注目点の相違、よいリーダーからさらに魅力のあるリーダーになるための要素等についてお話しいただきました。講演会を終えスタッフそれぞれに、専心と思いやり、診療中の説明やスタッフの対応の仕方と原点を振り返ることができ、また普段きちんとした接遇をしているつもりであった部分はないか・・・と、自分自身を見直す機会となりました。今後もこのような講演会を開催し、スタッフ一同向上に努めてまいります。

また、6月10日(木)18:00より、岡崎 春雄先生(米国 Mayo 医科大学名誉教授)を招き、『アメリカでの教育と診療』というテーマで講演会を行いました。Mayo 医科大学とはあまり耳慣れないと思われる方もいらっしゃるかと思いますが、Harvard 大学、Stanford 大学と並び、アメリカ3大病院の1つと言われている病院です。Mayo Clinic は1,800床を有する大病院であり、どのような理念で医師・看護師の教育を行っているのかお話を聞きました。この半月は病院スタッフにおいて学ぶこと、考えることの多い期間でありました。



医師の配属・異動・退職

新規配属医師

6/1 付【5/2～5/31】

【付属病院より】

岡田 良晴
(循環器)
昭和大学医学部
第一外科学教室

西岡 玄太郎
(メンタルケアセンター)
昭和大学藤が丘病院
精神神経科

晴川 津一
(消化器)
昭和大学医学部
第二内科学教室

【他病院より】

金光 仁志
(循環器)
岡山大学
平成14年卒

内田 雅士
(麻酔科)
信州大学
平成9年卒

井上 幸治
(内科)
東海大学
平成6年卒

異動・退職医師

5/31 付【5/1～5/31】

【異動】

倉橋 利徳 (消化器センター) 医学部第二内科学教室へ
毛利 亮 (循環器センター) 医学部第一外科学教室へ

【退職】

西岡 貴弘 (こどもセンター)

診療統計

2004年4月統計データ()内は1日平均

外来患者数 26,911人(1076.4人)、**入院患者数** 16,440人(548.0人)、**救急車搬送件数** 300人(10.0人)、**手術件数** 407件(19.4件)

植松 秀護 昭和大学卒業
6月 呼吸器センター(外)
7月 同上

臨床研修医として初めて実践の現場に立ち、早や1ヶ月が経ちました。社会人として医師としての自覚と責任感を持てるようになり、ようやく医療人としてスタートラインに立ったと感じています。学生の頃に出会った多くの人たちから学んだことを教訓とし、目の前にあることを1つ1つしっかりと歩んでいきたいと思います。

繁平 有希 島根医科大学卒業
6月 麻酔科
7月 救急センター

学生時代には感じたことのない緊張感と責任感に初めは押しつぶされそうでした。しかし小さなことでも一つ一つ習得する度に充実感や達成感を感じられるようになりました。2年間の研修を通じて自分の進むべき道を見極め、将来は患者さんの気持ちを理解した上で最善の判断を下せる優しい医師を目指していきたいと思います。

石井 源 北里大学卒業
6月 総合内科
7月 同上

皆様はじめまして、石井源です。
昭和大学横浜市北部病院に配属され1ヶ月が経ちました。徐々に仕事に慣れてきましたが、正直まだまだです。患者様も含めて皆様から日々、育てていただいていると感じます。早く一人前になって、皆様に貢献できるよう精一杯努力しますので、これからもよろしくお願い致します。

熊田 貴之 東邦大学卒業
6月 救急センター
7月 麻酔科

研修医1年の熊田貴之と申します。何も知らず何も出来ない、資格をもっただけの存在だった私も研修が始まってから約1ヶ月が経ち、ようやく採血などどうにか出来るようになって参りました。それも、周りで暖かく見守って下さった皆様のおかげです。これからも良い臨床医となるべく精進を重ねますので宜しくお願い致します。

宮下 耕一郎 北里大学卒業
6月 救急センター
7月 循環器センター(外)

多くの人に助けられ、幼い頃からの夢だった医師になりました。
不安もありますが、それ以上の熱意を持って、患者さまの身体的な面だけでなく、心の面にまでサポートしていけるような医師へ、一步一步確実に近づけるよう頑張っています。よろしくお願いいたします。

坂上 聡志 昭和大学卒業
6月 外科
7月 同上

新研修医の坂上と申します。毎日先輩医師や患者様に教わる事が山ほどあり、充実した研修を送っています。技術面でも知識の面でも未熟な自分にふがいなさを感じることも多々ありますが、一日でもはやく一人の医師として信頼されるように、また親しまれるように頑張っていきたいと思いますので、皆様よろしく願いいたします。

清家 直人 東邦大学卒業
6月 呼吸器センター(内)
7月 同上

最近体力づくりのために、休みの日に近くの公園を走るようにしている清家です。(いつまで続くかは疑問ですが・・・)臨床研修医になって、常に患者さんと向き合っている毎日に緊張しながらも、やりがいを感じながら頑張っています。よろしくお願いします。

小川 雄一郎 昭和大学卒業
6月 総合内科
7月 同上

先日臨床研修医説明会にて臨床研修医の1日という体験談を学生に話していたら、去年のこの時期、早く国家試験受かって働きたいと思っていたこと思い出しました。研修医になって1ヶ月経ち、少しずつ仕事にも慣れてきたところですが、悪い意味で“慣れ”てしまわずに、初心を忘れず頑張っていきたいと思っています。

前田 千晶 旭川医科大学卒業
6月 麻酔科
7月 救急センター

日本海を臨む新潟市に生まれ、北海道の雄大な自然の中で大学時代を過ごし、こちらへ参りました。
新しい出会いと発見の連続に胸を弾ませる一方で、社会人として、医師として、その責任の重大さを痛感しております。
今は患者様の笑顔に救われるばかりの毎日ですが、1日も早く皆様の御期待に沿える様精進して参ります。

平成16年度 臨床研修医の紹介

医師法の改正により本年度から臨床で仕事をしようとする医師は医師国家試験に合格後２年間、国の指定した病院で臨床研修を受けることが義務付けられました。これは医師が自分の専門領域だけでなく、内科、外科、救急、産科、小児科、精神科、地域保健医療といった分野で基本的に必要な診療能力を身に付けるためです。北部病院ではこの５月から１７名の新しい医師を受け入れました。医学部で学ぶ知識の量は、使用する教科書と参考書の重さの合計で比較すると明治の頃が２kgであったのに対し、現在は２t（トン）にのぼるとわれています。国家試験ではこの膨大な知識の有無を問われたのですが、１７人はこれを見事にパスしてきました。これからは現場に密着して生きた知識を獲得し、臨床の場で医師でなければ行かないことのできない技能を修得しなければなりません。さらに医師として最も大切な「知識と技能を用いていかに病気になった人に接するか」という人間としての態度を学ぶのです。これから学ぶ知識と技能と態度は「他の人の人生に意味のある貢献をする」ためのものです。

病院教育委員長　中島　宏昭

岩立 和子 昭和大学卒業
6月 総合内科
7月 同上

実家は市内ですが、院内の寮に入寮でき、気持ちを新たに頑張りたいと思います。ちょっと体力的に不安がないとはいえないのですが、16人の仲間の足を引っ張らないよう自分のペースでやっていきたいと思います。総合内科は疾患の幅が広くて大変ですが、まだ現在はそれ以前の状況です。また電子カルテはコンピュータの苦手な私には戸惑うことも多く、指示出し一つに時間がかかってしまっている現状ですが、今後とも宜しく願います。

林 隆広 昭和大学卒業
6月 循環器センター(内)
7月上旬 画像診断
下旬 緩和ケア

研修医になって、一ヶ月がすぎ、ようやく少しずつですが仕事にも慣れてきたところです。循環器センターの先生方や8B病棟の看護師さんの暖かいご指導のおかげで、充実した研修をさせて頂いております。少しでも患者様のお役にたてるようこれからがんばって行こうと思っていますので、宜しくお願い致します。

三輪 善之 昭和大学卒業
6月 消化器センター(外)
7月 同上

昭和大学出身の三輪善之です。研修が始まってもう 1 ヶ月が過ぎてしまいました。やっと P C の使い方にも慣れてきましたが、まだ分からないことだらけですが、先生方・看護師の皆さんから教えて頂き、一度聞いたことは忘れないようにし、患者さんのために、この病院の一員として頑張っていきたいと思えます。将来は、この 2 年間の研修を通して、自分に向いている科を見つけていきたいと思えます。よろしくお願いします。

小林 功治 昭和大学卒業
6月 救急センター
7月 同上

研修医 1 年生の小林功治です。研修開始して約 1 ヶ月たちましたがまだまだ戸惑う毎日です。患者様にとって私も医師の一人ですが、自分の無知さには本当に恥ずかしい気持ちで一杯です。毎日努力し、医師として胸を張れる日が来るよう頑張っていきたいです。スタッフの皆様、患者様暖かく見守って下さい。宜しく願います。

常岡 俊昭 昭和大学卒業
6月 消化器センター(内)
7月上旬 緩和ケア
下旬 画像診断

昭和大学出身の常岡です。学生から社会人へ、医学生から研修医への変化に戸惑いながらも、毎日、新しい仲間や先生達、優しい患者さんに囲まれて新鮮な時間を過ごしています。手技でも思考でも思うようにできませんが、この恵まれた環境の中でがんばって行きたいと思っています。よろしくをお願いします。

御子業 幸 東海大学卒業
6月 消化器センター(外)
7月 同上

1ヶ月前、不安と期待を胸にこの病院にやって来ました。知識不足や経験不足から皆様にご迷惑をかけ、落ち込むこともありましたが17人の同期や、時に患者様にも励ましの言葉を頂きながら充実した毎日を過ごしております。この恵まれた環境の下で一日も早く皆様のお役に立てよう努力してまいりますのでよろしくお願い致します。

浮田 慎 昭和大学卒業
6月 消化器センター(内)
7月 同上

今年から研修医として、社会人としての第一歩を歩み始める事になりました。大学時代は空手部に在籍しており、努力と礼節を教えられました。研修生活でも、その教えを生かして精一杯頑張っていこうと思います。ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。

下山 裕子 藤田保健衛生大学卒業
6月 総合内科
7月 同上

医師免許を貰い働き始めてから、あっという間に2ヶ月近く経ってしまいました。毎日が新鮮で学ぶことがたくさんあり、戸惑うことも多いですが、一生懸命がんばっています。患者様の立場にたって物事を考えられる医師になりたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。

外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

平成 16 年 6 月 1 日改訂

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	門倉光隆 (初再診)		鹿間裕介 (再診)	大眉寿々子 (初診)	西片 光 (初診)	医局員 (初診)	鹿間裕介 (初再診)	神尾義人 (再診)	門倉光隆 (再診)	栗生和幸 (初診)	医局員 (初診)
	笠原慶太 (初再診)	笠原慶太 (初診)	松田正典 (初診)		中神和清 (再診)		笠原慶太 (初再診)	笠原慶太 (初診)	笠原慶太 (初再診)	大眉寿々子 (再診)	
	北見明彦(再)		中島宏昭(初)				松田正典(再)	中島宏昭(再)	中島宏昭(再)		
消化器センター	佐々木廣仁	佐々木廣仁	田中淳一		木暮悦子	木暮悦子	井上晴洋		大塚和朗	大塚和朗	為我井/小池
	竹内 司	竹内 司	大塚和朗	大塚和朗	工藤由比	工藤由比	出口義雄	永田浩一	為我井芳郎	為我井芳郎	日高英二
	春日井尚		加藤博久(偶)	辰川喜志子	下田良		笹島圭太	笹島圭太	大前芳男	佐藤(隔週)	星 均
	加澤玉恵		樫田博史	大前芳男	加賀まこと		竹内 司	加藤博久(奇)	請川淳一	請川淳一	大森靖弘
	山村冬彦	山村冬彦	工藤達英		石田文生	小鷹紀子	樫田博史	山村冬彦	遠藤俊吾	遠藤俊吾	藤原裕之
循環器センター	緒方信彦	山本典良	落合正彦		小原千明	丸田一人	荒木 浩		岡林宏明	加藤源太郎	医局員
										西巻博 (第3のみ)	
精神神経科(初診)	工藤行夫		吉益晴夫		松丸憲太郎	松丸憲太郎 (物忘れ外来)	秋元洋一		野崎伸次	古田伸夫 (物忘れ外来)	古田伸夫
精神神経科(再診)	小城幸乃		秋元洋一		野崎伸次		吉益晴夫		工藤行夫		松丸憲太郎
精神神経科(再予)		鄭 英徹	伊川太郎		古田伸夫		石渡康宏		青山洋		山藤文
精神神経科(再予)			医局員		医局員		医局員		医局員		医局員
内科(緩和ケア) 事前予約のみ								高宮有介			
内科(23-2)	山田真帆 (内科消化器)			山田真帆 (内科消化器)	菊嶋修示 (循環器不整脈)	菊嶋修示 (循環器不整脈)		加賀まこと	菊嶋修示 (循環器不整脈)		菊嶋修示 (循環器不整脈)
内科(23-3)	衣笠えり子 (内科腎臓)		衣笠えり子 (内科腎臓)	白石祐司 (一般内科)	衣笠えり子 (内科腎臓)	衣笠えり子 (内科腎臓)	坂下咲子 (内科血液)		大野恭史 (一般内科)	川崎仁志 (内科神経)	医局員
内科(23-5)	坂下咲子 (内科血液)	高橋 健 (内科腎臓)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	三代川章雄 (内科消化器)	白石祐司 (一般内科)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)		三代川章雄 (内科消化器)
内科(25-1)				中山文義(腎) (第1火休診)							
内科(25-2)		渡邊浩之 (一般内科)		渡邊浩之 (一般内科)	木村 聡 (内科・感染症)					渡邊浩之 (一般内科)	医局員
内科(25-3)	田口 進 (内科消化器)		田口 進 (内科消化器)	田口 進 (内科消化器)			田口 進 (内科消化器)		田口 進 (内科消化器)		
内科(25-5)	荏原 徹 (糖尿病、内分泌)		嶋田 顕 (内科腫瘍)		荏原 徹 (糖尿病、内分泌)		嶋田 顕 (内科腫瘍)	嶋田 顕 (内科腫瘍)	荏原 徹 (糖尿病、内分泌)	富田高重(第1 (内科消化器))	荏原 徹 (糖尿病、内分泌)
内科(25-6)		三上哲弥 (内科消化器)	三上哲弥 (内科消化器)		山本真寛 (一般内科)		緒方浩頭 (内科腎臓)	山本真寛 (一般内科)	三上哲弥 (内科消化器)		緒方浩頭 (内科腎臓)
内科(25-7)			辻 正富 (糖尿病、内分泌)	辻 正富 (糖尿病、内分泌)	伊藤英利 (内科腎臓)		辻 正富 (糖尿病、内分泌)	辻 正富 (糖尿病、内分泌)	伊藤英利 (内科腎臓)		辻 正富 (糖尿病、内分泌)
小児科	野中善治		梅田 陽		北澤重孝		野中善治	成育外来 予約のみ	梅田 陽		医局員
小児科	曾我恭司	予防接種 予約のみ	曾我恭司	乳児検診 予約のみ (新生児科)	梅田 陽		曾我恭司		京田学是	乳児検診 予約のみ (新生児科)	医局員
小児科	高野忠将		野中善治		京田学是		廣畑裕子		高野忠将		医局員
小児外科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		五味 明	杉山彰英(奇) 真田 裕(偶)
皮膚科(初16-3)	宋 寛傑		濱口太造		島田洋子		濱口太造		宋 寛傑		
皮膚科(再16-1)	濱口太造	三浦久美子	宋 寛傑	濱口太造	濱口太造	三浦久美子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	
皮膚科(再16-2)	三浦久美子	外科手術	長村蔵人	外来手術	長村蔵人	外科手術	三浦久美子	外来手術	長村蔵人	外来手術	
外科	中村明央		新井一成		新井一成		新井一成		中村明央		中村明央(奇) 新井一成(偶)
外科							福成信博 (第1木)	井関雅一(偶)	成原健太郎	岩波正英(偶)	黒井克昌 (乳癌外来・検体のみ)
形成外科	大塚尚治				大塚尚治				福司山洋美		大塚(奇) 福司山(偶)
脳神経外科(初再診)	池田尚人	(診断書外来)	医局員 当日のみ		池田尚人	退院後外来	畑山和己		畑山和己		畑山和己(奇) 池田尚人(偶)
脳神経外科(再診)	畑山和己 予約のみ	池田尚人 予約のみ	医局員				桑沢二郎(奇) 予約のみ		池田尚人		池田尚人(奇) 畑山和己(偶)
整形外科	医局員 (初診外来)	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	医局員
整形外科	松久孝行	ギブス診 予約のみ	山村拓也		松久孝行	ギブス診 予約のみ	山村拓也		山藤 賢		医局員
整形外科	川崎恵吉		渡邊兼正		山藤 賢		川崎恵吉		渡邊兼正		
産婦人科 初診(12-7)	鈴木紀雄(奇) 近藤哲郎(偶)		高橋 諄 (折坂 勝)		高橋 諄 (宮本真豪)		大塚和朗 (長谷川潤一)		小川公一		医局員
産婦人科 産科Ⅰ(12-1)	長谷川潤一		小川公一		栗城亜具里		近藤哲郎		鈴木紀雄		
産婦人科 産科Ⅱ(12-6)	高橋 諄 折坂 勝			特殊診 予約のみ			宮本真豪			特殊診 予約のみ	
産婦人科 産婦人科 婦人科Ⅰ(12-8)	小川公一		鈴木紀雄	特殊診 予約のみ	近藤哲郎		高橋 諄		長谷川潤一	特殊診 予約のみ	医局員
産婦人科 婦人科Ⅱ(12-6)			折坂 勝		宮本真豪				栗城亜具里		
泌尿器科(初診)	佐々木春明		椎木一彦		鈴木俊一		青木慶一郎		島田 誠		深澤 立
泌尿器科(再診)	島田 誠	島田(女性外来 予約のみ)	深澤 立	医局員	青木慶一郎		鈴木俊一	深澤 立	佐々木春明 (男性外来予約)		医局員
泌尿器科(再診)		椎木一彦							佐々木春明 (男性外来予約)		
泌尿器科(検査)		菅原 草				鈴木・青木 予約のみ				菅原 草	
		医局員 予約のみ								医局員 予約のみ	
眼 科	玉井裕子	特殊診(玉井)	小池正直		紀平弥生		小池正直	特殊診(小池)	紀平弥生		小池正直(奇) 紀平弥生(偶)
眼 科	中村 徹	中村 徹	中村 徹	特殊診(中村)	玉井裕子		紀平弥生		玉井裕子		玉井裕子(奇) 中村 徹(偶)
眼 科	恩田麻維子	恩田麻維子	恩田麻維子	恩田麻維子			恩田麻維子	特殊診(恩田)	中村 徹	中村 徹	中村 徹(偶)
耳鼻咽喉科 13-2①	門倉義幸 (初診)	腫瘍甲狀腺外来 予約のみ	池田尚弘 (初診)	「フレック」-外来 予約のみ	医局員 (初診)	「東洋医学外来 予約のみ	柳・徳丸 (初診)		医局員 (初診)	歯科装具 予約のみ	医局員 (初診)
耳鼻咽喉科 13-2②	徳丸岳志 (再診)		油井健史 (再診)	レーザー-外来 予約のみ	医局員 (再診)		門倉義幸 (再診)			いびき外来 予約のみ	
耳鼻咽喉科 13-3	柳裕一郎 (再診)	めまい外来 予約のみ	柳裕一郎 (再診)				池田尚弘 (再診)	池田尚弘 (再診)			
耳鼻咽喉科 13-5				小児外来 予約のみ		補聴器外来K 予約のみ		補聴器外来 予約のみN			

◎ 放射線治療の外来日は、月火木金： 馳澤憲二です。

人間ドック、リニューアル！！

平成 16 年 6 月 1 日(火)より人間ドックをリニューアルし始動しました。患者さまからのご要望に応えられるように専用検査室、待合室を設け、眼科的検査(視力・眼底・眼圧)や生理機能的検査(聴力・呼吸機能)を新しく設置し、レントゲン検査に胃部造影撮影なども基本検査項目として追加しました。また、お食事の時間や休憩時間など少しでもゆっくりと過ごしていただけるよう専用のラウンジを設け、中庭の整備にも力をそそぎました。スタッフ一同今回のリニューアルに自信を持っています。

人間ドックを担当させていただく看護師・検査技師・事務員も専属として揃いました。皆さまのお役に立てるよう努めてまいります。不十分な点、不明瞭な点がございましたらお気軽にお申し付けください。

人間ドックのすすめ

「病気になるったら医者に診てもらおう」のではなく、健康に暮らすための自己管理が大切です。

病気は防止が最善。危険な「がん」「心疾患」「糖尿病」「高血圧」「高脂血症」なども、早く発見できれば被害ははるかに少なくて済みます。

30歳から40歳は人生の折り返し地点です。日ごろ健康だと思っても、年々積もるストレス、喫煙、アルコールや不規則生活などで知らず知らずのうちに病気になっていることがよくあります。

自分の身体のくせを知り、それに合った生活をすることも大切です。

当院における傾向としましては、基本検査に加え、脳ドック、胃がんドックをあわせて受けられる方が多くみられます。その中で緊急手術となった方、大きな検査が必要となった方やがんの細胞が見つかった方もおられます。まさに早期発見できたことにより対応できた治療です。

時代は治療から予防に向かっていま

す。このたび、各分野の専門医と最新の検査法を取り入れ、人間ドックを更に充実いたしました。実施記録は半永久的に電子カルテに保存されます。

『異常なし』と分かれば、‘自分は健康なんだ!!’と安心して生活ができます。最高に気持ちの良い生活だと思います。健やかな明日のために、健康に暮らすために、年に一度くらいは精密検査を受けて自分の健康状態を確かめてはいかがでしょうか？

病院長 田口 進

過去の統計

- ☐ 平均年齢 51.0 歳(男性 52.4 歳、女性 48.9 歳)
- ☐ 男女比 男性：女性 = 6：4
- ☐ 当院二次検査施行者 約 45%
- ☐ 中～重症疾患発見者： 約 10%

耳より情報

皆さんのお勤め先の『指定している人間ドックの検査項目』を満たす受診の場合、受診費用の補助が受けられることがあります。当院でも検査項目を増設いたしましたので、今まで当院のドックだと補助対象にならなかった場合でもご利用できる可能性があります。今まで費用が高いと思われてお受けになっていなかった方、是非お勤め先にご確認してみてくださいはどうでしょう？実際に何万円も受診費用を補助してくれるところもあるんですよ!!

オプション検査

- A) 脳ドック ■血液検査(血液凝集能ほか)【水・木・金】
■脳MRI・MRA ■頸部動脈血管超音波検査
- B) 肺がんドック【水・木・金】
■肺CT検査
- C) 大腸がんドック(検査実施は別曜日となります)【月・水・金】
■大腸内視鏡
- D) 胃がんドック【月・水・金】
■胃・十二指腸内視鏡検査
- E) 婦人科ドック【火・金】
■子宮頸部細胞診 ■経膈超音波検査
- F) 乳がんドック【火】
■乳房超音波検査 ■マンモグラフィ ■触診

※【 】内は実施日です。また、オプション検査のみの受診はできません。事前にお問い合わせください。



体験された方からの声

先日、初めて人間ドックを受けました。35歳を過ぎ、健康診断のつもりで血液検査・心電図・超音波検査などの基本検査。そして、最近頭痛に悩んでいたのでオプションの脳ドックを受診しました。特に印象に残った超音波検査、胃バリ、そしてMRIについて、少しお話ししたいと思います。

超音波検査はゼリーを腹や脇腹に塗り、プローブとかいうものを腹にあてて検査をしました。とてもくすぐったく、

ある意味ではつらい検査でした。

胃バリ(胃部造影撮影)は、バリウムを飲んでレントゲン撮影を行いました。まずいと思っていたバリウムは予想より飲みやすいものでしたが、検査後のバリウムの"出産"には苦労しました。水分を多めに、頂いた下剤を早く飲むべきでした。

MRI(脳ドック)はベッドに横になり装置に入っていく検査ですが、この装置の中にはいると、頭の中で工事が始まったような大きな音が襲ってきました。

事前に説明は受けましたが、予想以上の音の大きさに驚きました。

また、改装されたという休憩室はきれいなラウンジとなっており、待ち時間には快適なソファにもたれながらテレビを見たり新聞を読むなど、ちょっとした別荘気分を味わうことができました。

少しお金はかかりますが、健康のために年に1度は有給休暇をとって、人間ドックをうけてみるのも悪くないのではないかと思います。

室内風景のご紹介



【ラウンジ】

1階の部分は、専用のラウンジとなっております。テレビの視聴や新聞、雑誌等をご覧いただけます。また設置しましたソファがリクライニングになっていますので、仮眠をとられたりと…ゆったりお時間を過ごしていただけたと思います。実際にここにいらっしゃる時間はお昼前後が多いので、皆さんお休みになっています(笑)。

晴れた日には、中庭で陽光を受けながら、くつろいでいただけるようにベンチを設置しております。花壇の花を見ながらお休みになられた方もいらっしゃいましたよ。

【食事ラウンジ】

上記のラウンジの奥にお食事時専用のスペースを設けております。お弁当はここへ運ばせていただきます。お好みに合わせて飲み物(温かいもの、冷たいもの)を選んでいただけます。おかわりもご自由にいただけます。また、おしぼり(アツアツのもの)も用意しておりますので、お食事の前後にご利用ください。

窓も大きく、採光たっぷり明るい空間です。お弁当もたっぷりですよ!!

【2階 検査待合】

2階の待合風景です。ここでは人間ドックのオリエンテーションを行ったり、一日の流れやご注意等の説明をさせていただきます。それから、各コースの検査が始まります。検査をお待ちの時間はここでお待ちいただくことになります。

そして…、人間ドック終了後に、お気づきになられた事、ご要望等ございましたら、是非アンケートにご記載いただければ、と思います。

スタッフのご紹介

看護師は問診や検査などを通して、ドック利用の方が健康面において、日常生活で疑問に思われていることや心配事などについて、キャッチできるように努力しています。お時間のある方、ご希望の方はドック終了後に看護師とともに日常生活を振り返ってみませんか!?生活改善の糸口が見つかるかも…。

そして次のドックでお会いしたときには、「体重が減ったよ。」「コレステロール値がよかったよ。」おっしゃる笑顔をおまちしております。 【平野・泉對】

現在スタッフ2名で眼圧・眼底および採血業務を担当しています。ドックのお部屋でも特に日当たりの良い場所で検査しています。明るい日差しに負けぬよう、明るい笑顔で皆さまをお迎えしたいと思っております。 【佐藤】

健全なる精神は 健全なる身体に宿る と申します。

日頃、早いテンポで多忙な毎日をお過ごしの方、当院のドックを受診され、一日ゆったりと、のんびりとご自身の身体チェックをなさってください。ご利用を明るく元気にお待ちしております。 【岩下】

ご案内・お申込受付

事前予約が必要となります。ご予約は、お電話およびFAXにて受付けております。お申込みの締め切りは、ご希望受診日の2週間前までとなっております。

【お申込み連絡先】

医事課 入院受付内 人間ドック担当

電話番号：045-949-7165 (直通)

Fax 番号：045-949-7157

受付時間：平日：午前8時30分～午後5時

土曜：午前8時30分～午後1時

URL：<http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/>



お昼(お弁当)のご紹介

当初、人間ドックにお申し込みをいただいた方への昼食は、9階のレストランをご利用していただいております。しかし、レストラン内の混雑や導線が長いことなどを考えまして、人間ドックの方専用のお弁当を用意させていただくことと致しました。人間ドックのスタッフが吟味を重ねた特製のお弁当をレストランより西棟の人間ドックのお部屋まで運ばせていただきます。お食事の際は、1階の食事ラウンジ(写真右ページ中)をご利用いただけます。ご意見・ご要望がございましたら、スタッフまでお声をおかけください。



岩下有紀子(後ろ・事務)

平野住子(看護師)

佐藤由香(技師)

泉對福江(看護師)